

『環境関連データ』2015-2019 年度推移



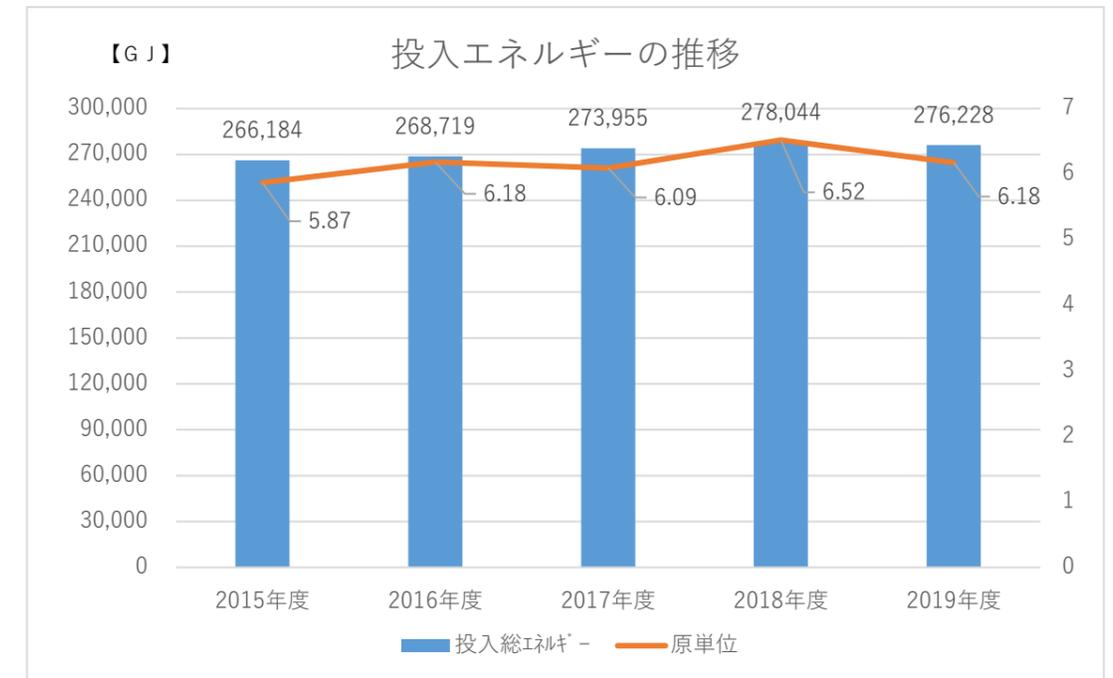
■ CO₂排出量

			2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
			排出量(t-CO ₂)				
算定方法							
スコープ1 + 2			13,527	13,386	13,871	13,956	15,031
スコープ1	自社での燃料使用に伴う直接排出	自社での燃料使用に伴う直接排出					4,452
スコープ2	外部から購入した電力や熱の使用に伴う間接排出	電力や熱の使用に伴う間接排出					10,578
スコープ3							
カテゴリ1	購入した製品・サービス	原材料の年間購入重量より算定					37,472
カテゴリ2	資本財	1年間の設備投資金額に、投資金額当たりの排出原単位を乗じて算出					3,523
カテゴリ3	燃料及びエネルギー関連活動	年間でのエネルギー使用量をもとに算定					2,334
カテゴリ4	輸送・流通（上流）	製品を出荷する際の輸送に係る排出量を算定 省エネ法の特定荷主の算定方法に基づき算定					7,409
カテゴリ5	事業から出る廃棄物	廃棄物を種類別に分類し、廃棄物処理方法の排出原単位を乗じて算出					601
カテゴリ6	出張	従業員数をもとに算定					135
カテゴリ7	従業員の通勤	自動車通勤者：マイカー通勤距離より算出 上記以外：自動車通勤者以外の人数に営業日数と旅客鉄道での排出原単位を乗じて算出					1,099
カテゴリ8	リース資産(上流)	スコープ1, 2で算定済					0
カテゴリ9	輸送・流通（下流）	省エネ法の特定荷主の算定方法に基づき算定					1,453
カテゴリ12	販売した製品の廃棄						30,577
カテゴリ15	投資	株式保有株数により算定					1,975
CO ₂ 総排出量 合計							101,608

※スコープ3における排出量は、2019年度から算出。

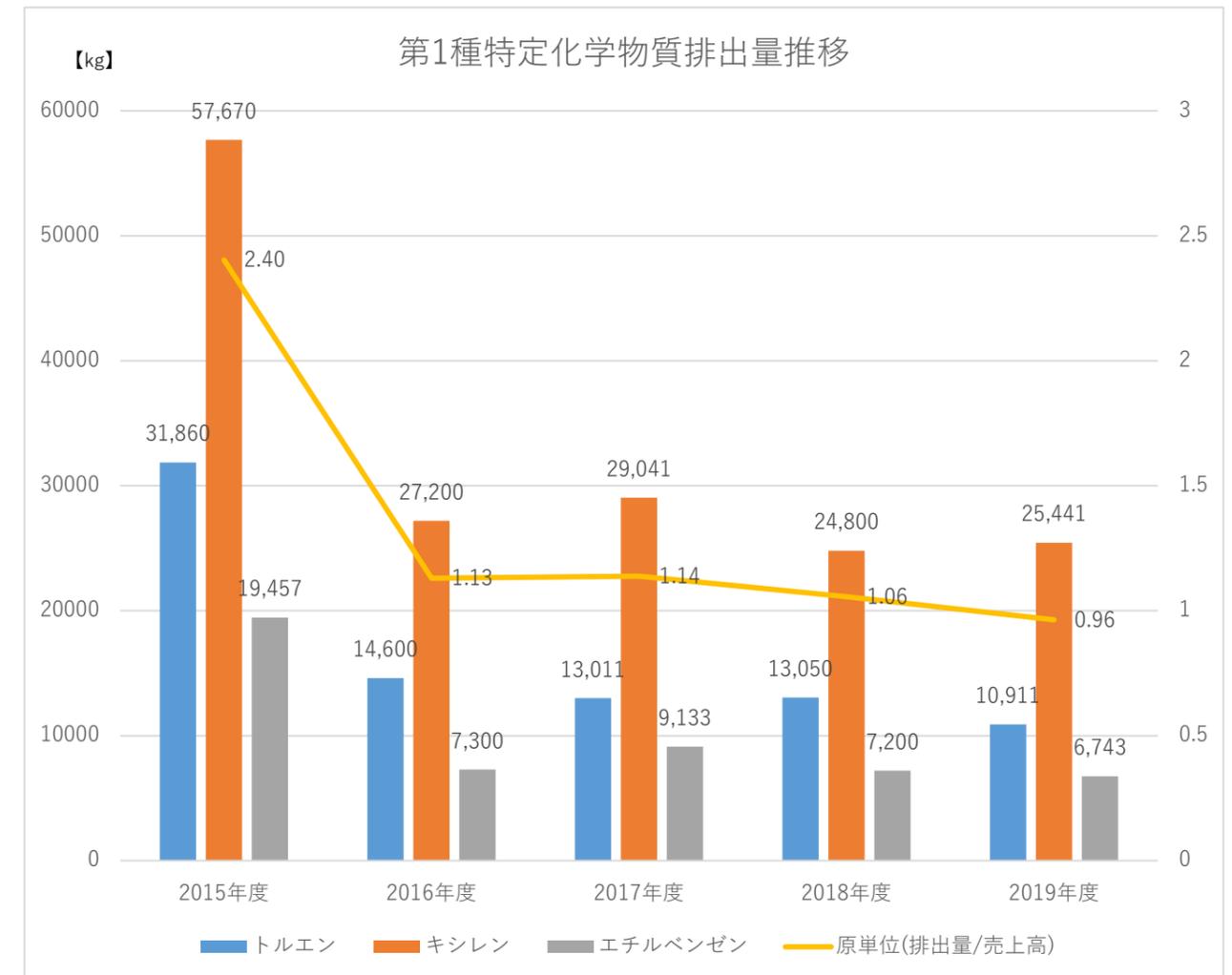
■ エネルギー使用量

	単位	2015年		2016年		2017年		2018年		2019年	
		使用量	GJ換算								
ガソリン	k l	38	1,315	40	1,384	41	1,419	39	1,349	37	1,280
灯油	k l	35	1,285	39	1,431	45	1,652	37	1,358	44	1,615
軽油	k l	416	15,683	347	13,082	369	13,911	376	14,175	415	15,646
A重油	k l	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
C重油	k l	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
LPG	t	306	15,545	321	16,307	334	16,967	312	15,850	345	17,526
都市ガス	千 m3	930	42,160	945	42,525	937	42,167	966	43,472	957	43,067
電力	千 k w h	19,240	190,196	19,628	193,990	20,024	197,839	20,434	201,840	19,956	197,094
合計			266,184		268,719		273,955		278,044		276,228



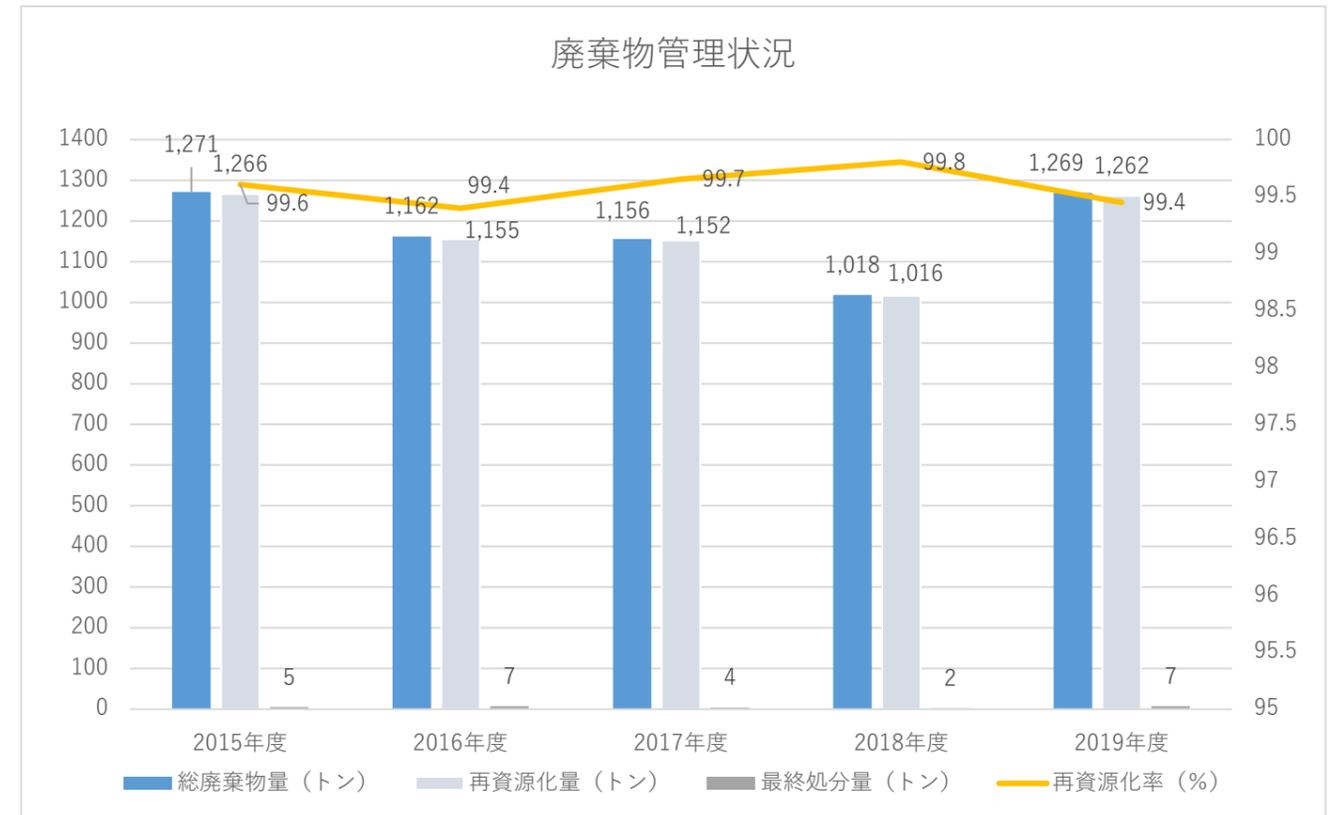
■ 第1種特定化学物質排出量

排出量【kg】	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
トルエン	31,860	14,600	13,011	13,050	10,911
キシレン	57,670	27,200	29,041	24,800	25,441
エチルベンゼン	19,457	7,300	9,133	7,200	6,743
原単位(排出量/売上高)	2.40	1.13	1.14	1.06	0.96



■ 廃棄物管理状況

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
総廃棄物量 (t)	1,271	1,162	1,156	1,018	1,269
再資源化量 (t)	1,266	1,155	1,152	1,016	1,262
最終処分量 (t)	5	7	4	2	7
再資源化率 (%)	99.6	99.4	99.7	99.8	99.4



■ 太陽光発電量

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
福岡工場 (1.5MW 規模) 【kWh】	1,937,580	1,997,890	2,012,120	1,908,170	1,722,740
旧東北工場 (1.5MW 規模) 【kWh】	1,563,069	2,244,314	2,287,990	2,218,019	2,347,819
音羽事業所 (0.35MW 規模) 【kWh】	340,730	527,839	544,588	525,965	520,697
合計	3,841,379	4,770,043	4,844,698	4,652,154	4,591,256

■ 環境会計

環境保全への取り組みを効率的にかつ効果的に推進することを目的として、事業活動における環境保全コストのためのコスト及び効果を把握し、環境省発行の「環境会計ガイドライン」に沿って環境コストと環境効果を集計しています。

集計範囲：極東開発工業株式会社

対象期間：2019年4月1日～2020年3月31日

【環境保全コスト】

【単位：百万円】

コスト分類	主な取り組みの内容	2018年度実績		2019年度実績		前年比増減	
		投資額	費用	投資額	費用	投資額	費用
(1) 事業エリア内コスト		89	69	56	74	△33	5
	①公害防止コスト	0	16	0	14	0	△2
	②地球環境保全コスト	89	0	56	0	△33	0
	③資源循環コスト	0	53	0	60	0	7
(2) 上・下流コスト	グリーン調達、リサイクルなど	0	0	0	0	0	0
(3) 管理活動コスト	ISO 関連費用、教育	0	2	0	3	0	1
(5) 社会活動コスト	自然保護、緑化、環境団体への寄付、支援	0	4	0	4	0	0
(6) 環境損傷対応コスト	環境汚染の修復費用	0	0	0	0	0	0
合 計		89	75	56	81	△33	6

※なお、上記費用には人件費及び減価償却費は含んでいません。

【環境保全効果】

➤ 費用削減効果

【単位：百万円】

分類	項 目	効果
収益	廃棄物のリサイクルに伴う収益	61
費用節減 ^{※1}	エネルギー費用の削減	40
	廃棄物処理費用の削減	△8
	水購入料削減	△2

※1. 対象年実績と前年実績の差を「効果」として算出。

※2. △マイナスは金額が増加したことを示しています。

➤ 環境保全効果（物量効果）

分類		2018年度	2019年度	環境保全効果
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	総エネルギー投入量（GJ）	278,044	276,228	△1,816
	水資源投入量（千 m ³ ）	173	174	1
事業活動から排出する環境負荷および廃棄物に関する環境保全効果	CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	13,956	15,029	1,073
	廃棄物総発生量（t）	1,018	1,269	251
	廃棄物最終処分量（t）	2	7	5